

2024年8月21日

杉並区長 岸本聡子様

都市計画道路補助 133 号線（中杉通りの
五日市街道までの延伸）に反対する会
村上芳子 03-3313-4014
岡しげみ 090-6948-2730

「(仮称)デザイン会議」への意見書

133 号線に反対する会は、既に 6 月 2 日に行われ、今後も行われる「(仮称) デザイン会議」について意見書を提出いたします。

私たちは、今後 100 年先を見据え、道路優先ではなく、そこに住む人々が健康で豊かに暮らすことができる街づくりに住民も加わり、行政と一緒にまちづくりをすすめることは賛成です。

しかしながら、今回、杉並区から提案のあった 3 地域では、商店街と住宅地の違い、また拡幅での道路計画と住宅地をなぎ倒すがごとくして 100 軒もの住宅、住民を立ち退かせて造る道路計画の違いがあります。さらにこの地域の補助 133 号線（中杉通りの五日市街道までの延伸）については事業認可をされておられません。こうした状況を考えたとき、補助 133 号線に関わる南阿佐ヶ谷地域（成田東地域）については全く独自に考えるべきであると思います。

また、本年、東京都は土地収用に関する方針を変更したことにより、住民は新たな不安を抱いております。

- 1、補助 133 号線の道路計画は健康で豊かな暮らしと自然を壊すものとして、地域住民の多くは不要と考えています。

「(仮称) デザイン会議はじまりの会」で配布された資料で、デザイン会議の目的を「なぜ道路整備が必要なのか」「道路整備によって何がかわるのか」と明記されています。私たちは道路ありきの「まちづくり」は考えられません。杉並区と住民の道路計画への考えが大きく乖離しているとしか考えられません。

- 2、「(仮称) デザイン会議」の名称について

「〇〇地域のまちづくり会議」など、ストレートに誰でも分る名称がいいのではないのでしょうか。また地域ごとに特性が異なります。名称を統一する必要はないと思います。

「(仮称) デザイン会議」の 三つの地域別の名称が、補助 133 号線の地域は「南阿佐ヶ谷地域」となっていますが、南阿佐ヶ谷駅周辺の再開発を念頭におかれているからではないのでしょうか。地名から考えても補助 133 号線の地域とは相いれません。

3、このたび杉並区に新設された部署名の都市整備部「沿道のまちデザイン担当」というネーミングには違和感を覚えます。現在、補助 133 号線の沿道は存在しません。事業化もされていません。やはりこの部署の発案も道路ありきの考えと推察せざるをえません。

4、会議の進め方について

参加者の意思と関係なく業者さんのマニュアルに乗せられて会が進行しているように感じました。スマート・手慣れた感じの運営は必要ないと思います。

業者さんに頼ることなく、区の職員と住民が各々主体となって会議を進め、お互い、言いつばなし、聞きつばなしではなく、討論の場となる会議が望ましいと思います。そして職員の方たちは、会議の中で住民が述べた意見を参考にされて、日ごろの行政を担っていかれることを切に望みます。

5、杉並区・東京都がいう道路の必要性について、住民が十分に納得でき、その是非を判断できる確固たる根拠、データが示されていません。公平な立場で、都市環境、都市工学、街づくりなどの研究者・専門家による様々な視点からの学術的な知見を、職員・住民がともに学ぶ機会を設けて下さい。

6、「会議」を進めるための「運営会議」は、今後速やかに開催して下さい。